

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	公衆衛生学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時間	通年	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	神田 秀幸 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部(環境保健医学講座)に勤務		

《授業科目における学習内容》

公衆衛生学の概念、方法の基礎を学ぶ。一次予防、二次予防及び三次予防とは、その理論に基づき、環境諸要因が個人・集団の健康あるいは社会生活に及ぼす影響について理解を深める。疾病的予防や健康増進へのアプローチの方法等、保健予防・医療に関する知識を習得する。公衆衛生活動の様々な実践活動を学び、人々の健康を守るために組織、器官及び医療従事者の役割や機能への理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

出席状況、筆記試験で総合的に評価する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 公衆衛生 医学書院
国民衛生の動向

《授業外における学習方法》

テキストを読み予習をする。授業内容をまとめ復習をする。

《履修に当たっての留意点》

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	公衆衛生学についてまとめることができる。 公衆衛生学総論	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
			産業保健についてまとめることができる。 産業保健		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	国民栄養と食中毒について説明することができる。 国民栄養と食中毒	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
			災害保健についてまとめることができる。 災害保健		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	学校保健についてまとめることができる。 学校保健	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定		テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定		テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	精神保健		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	成人保健		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	調査、研究法についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	調査、研究法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療と社会についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	医療と社会		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域保健		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境保健についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	環境保健		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症対策、栄養について説明することができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	感染症対策、栄養		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健について説明することができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	高齢者保健		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	難病 障害者福祉についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	難病 障害者福祉		
第15回		授業を通じての到達目標	健康格差と生命倫理についてまとめることができる。	テキスト AV機器	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	健康格差と生命倫理		